新入生の声

4月9日の入学式から4ヶ月が経とうとしています。新入生の皆さんに、奈良高専へ入学した感想を聞いてみました。

電子制御工学科1年 高岸 涼平
僕が奈良高専に入ってよかったことは、5年制だということです。普通の高校より2年も早いので、僕がやりたかったロボコンに集中して取り組むので、とてもうれしいです。

情報工学科1年 大野 優
奈良高専入学して不安なことがたくさんありました。クラスや部活動に馴染み、同級生や先輩たちと楽しんでいます。勉強、クラブで忙しく、体調を崩すこともありました。一生懸命頑張っています。

物質化学工学科1年 林 大朔
奈良高専入学し、学校生活や行事で仲間を知り、今ではすっかり高専生です。また、奈良高専はオタクではなく、運動系の学生が多いことも気づきました。新入生諸君、留年するなよ！

電気工学科1年 中野 史博
入学当初、私は環境や学校の内容に不満を感じ、将来へ向けて専門的なことを学ぶ事は非常に難し事だと思っています。
機械設計製図、機械工学入門そして機械工作実習、こんな文字を読むのにも難しそうですが、内容は高校一年生にも分かりやすく、楽しく学ばせてもらっています。

電気工学科1年 松内 秀直
小学校や中学校の内容の勉強から離れ、将来へ向けて専門的なことを学ぶ事は非常に難しい事だと思っています。
機械設計製図、機械工学入門そして機械工作実習、こんな文字を読むのにも難しそうですが、内容は高校一年生にも分かりやすく、楽しく学ばせてもらっています。

『青年期の課題』

臨床心理士 松浦 純子
新年度2月の1が過ぎ、夏休みを目前にすることとなりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか？若者1年生は、新しい仲間や教員との出会いの中で、楽しみながら過ごすことを心がけましょう。

大人的倒錯を一歩ずつ登っている。

至誠の若者が своими心は、周囲の色んなことに敏感で、理由なく直ちに思ってイライラしたり、悲しみで訴えが止まらなくなったり、気持ちが不安定になったりすることがよくあります。

皆さんがいきいきする青年期という時期は「自分が何者であるのか」「自分がやりたいことは何か」「社会の中での自分の位置づけは？」などという問いに対する答えを探求する中で、自分なりに（ジェンセプション）を確立していく時期です。この自分探しの確立という課題を達成させるためには、悩み、時に何らかの心の病で自尊心を高めたり、誰かと比べてみずみをめしめなったり、日々を過ごすうちに、気持ちが валーンする人もいるようです。

大人が疲労をめざす未婚者とし、この時期は自然であること、それがこの青年期を通じるための儀式ではありません。悩みの末に気力がつかない状態の中で、学校生活を送っていくと、節や八九が起こり、授業に集中できず、勉強がつかない。言う事態も考えられます。

本校では、各学部及び、特別相談員の先生方の相談の他に、松浦カウンセラー（臨床心理士）によるカウンセリングを行っています。一人ひとりの悩みを抱え込んで、様々な相談を bicyカウンセラーに相談することもできます。

利用方法：学生相談室・保健室にご相談いただけます。（予約制あり。対応時間によります。）
相談時間：毎週火・水・木曜日の13:00~17:00

カウンセリングの方法：カウンセリングの準備として1月1日が、相談者と親しむことを心がけます。
カウンセリングは、あなたの悩みを打ち明けたい場所でありたいと来室をお待ちしています。